

# 「9・11の真相を糺すのもテロですか？」

——キャメロン英首相国連演説に対する公開質問状

By Peter Drew

Global Research, September 29, 2014



親愛なるキャメロン首相、

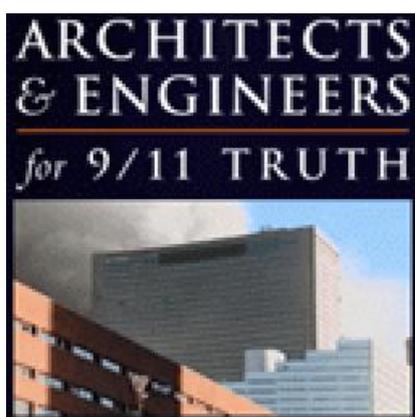
私はこの公開質問状を、あなたが最近、ISIS の脅威に関してイラクとシリアへの軍事介入を呼びかけた、国連における演説に対する反応として書いております。特に私が取り上げたいのは、あなたが「非暴力過激主義者」と呼ばれた人々の、社会へのいわゆる脅威についてですが、この人々の中には、9・11に関して公的説明とは矛盾する情報や証拠を持ち出そうと試みる者たちも含まれています。

ISIS の問題はしばらく脇におくとして、この9・11の証拠についての立場は、私には全く信じられないものです。これは極端に無知な者の言うことか、それとも自由と民主主義の英国社会常識に、とうてい考えられないほどに逆らう者の立場です。世界中の膨大な数の、十分に信用でき、かつ専門的な人々が現在、9・11 という事件が組織的に隠ぺいされ、一般大衆はこの問題について、全く信じられないほどに騙され操作されてきたことを示す、反論の余地のない事実と証拠を持ち出しています。それは一般大衆が、イラクの“大量破壊兵器”について騙され操作されていたのと同じです。

あなたは、9・11に関するこうした証拠を持ち出すこのような人々を、「非暴力過激主義者」と呼んでいます。現在、9・11に関してニューヨーク市で行われていることを、あなたにご存知ですか？

あなたは、10 万以上のニューヨーク在住者が、世界貿易センター「ビルディング 7」の倒壊の新しい調査を、“高層建築安全イニシャティブ”を通じて行うことを求める請願に、署名していることをご存知ですか？

あなたは、アメリカの公共団体の募金努力によって、現在、タイムズ・スクエアの中央に巨大なデジタル・スクリーンが設置され、WTCビルディング 7 の統制された解体のシーンを、300 万のニューヨーク市民に、連続ビデオによって見せている事実をご存知ですか？ これは、ほとんどの人がこれまで知らずまた見てもいなかった、巨大な 47 階建てのビルの（飛行機の衝突によるのではない）倒壊のフィルムです。



(このビルが垂直に自由落下速度で倒壊する)

あなたは、米議会の多くの議員がオバマ大統領に対し、9・11 調査委員会報告の 28 ページ分の削除された部分を、公表するように要求しているのをご存知ですか？ これは、この部分を見る許可を得た 2 人の議員によれば、国民を仰天させるような情報がそこに含まれているからです。

にもかかわらず、あなたは世界に向かってこう言明しました——もし一般大衆の中に、9・11 に関するこうした事実や証拠や情報がより広く世界に知られ、適切な調査がなされることを願う者がただけでも、その者たちは「非暴力過激主義者」であり、ISIS の一味であると判断すると。

先に言ったことを繰り返します。世界に向かってあなたが行ったような言明をするからには、あなたはこの問題について極端に無知か、それとも、とても信じられないほどに、良識と自由のある社会に逆らっているのか、どちらかです。英国の首相ともあろう人が、私がここに述べたことを知らなかったとは考えられません。だからこの後者の方が当たっていると考えざるを得ません。

私の論点を更に補って言えば、あなたの主張によると、9・11に関する見解のために、あるいは持ち出した証拠のために、あなたは次のような人々を、社会が直面している ISIS の脅威の一部である「非暴力過激主義者」と考えることとなります——

9・11 調査委員会報告の、削除された 28 ページ分を公表せよと呼びかけている、米議会議員たち

9・11 の WTC ビルディング 7 倒壊の調査のし直しを、公的に支持し要求している、10 万名のニューヨーク市民たち

この日、命を賭して最初に飛び込んで外部と応答し、343 名の同僚を失った、何十人も  
の消防士たち——「9・11 の真実を求める消防士団」を組織した人々を含めて

Norman Minneta——9・11 当時の米運輸長官で、9・11 調査パネルに公的に証言したが、記録から切り落とされた

Richard Clarke——9・11 当時の米反テロリズム委員長

9・11 犠牲者の数知れない遺族たち

このリストは単に思いついただけのものですが、9・11 についての見解や持ち出した証拠のために、「非暴力過激主義者」で ISIS との戦争の一部のように、今、あなたがレッテルを貼るのは、ほぼこんな人たちだと考えられます。国連へのあなたの演説によれば、このような人たちが調査のために提供しようとしている情報や証拠を公開するインターネットサイトを、遮断することのできる法整備が必要だということです。これこそ私には過激派の振舞いに見えます。実のところこれは、誰か、途方もない大きさの隠ぺいを手助けしている者の言葉に聞こえます。

現在あらゆる人々が、我々を戦争に連れ出すために、イラクの大量破壊兵器の問題について騙され操作されていたことを認めているように思えます。9・11 の真相に関しても、我々は大きな規模で騙され操作されていたようです。ここから考えるなら、アメリカが ISIS の脅威と言っているものについて、一言でも信じる者がいるのでしょうか？

あなたはすでに、結局はせいぜい不確かであることが分かった、アサド政権に対する証拠といわれるものを根拠にして、イギリスをシリアでの戦争に引き出そうとしました。それからわずか数か月後の現在、あなたは再びイギリスを、今度は新しい別の脅威の確かな証拠があ

ると言って、シリアとの戦争に引き出そうとしています。その一方であなたは、公式ストーリーに矛盾する 9・11 の見方を取る者を、誰であれ「非暴力過激主義者」と考えています。

ISIS の問題は、いったい彼らが誰なのか、誰がどうやって彼らを作り出し、支えているのか、何が世界に対する彼らのより大きな脅威なのかについて、曖昧な雲に包まれたように見えるので、これは脇におくとして、国連におけるあなたの、この問題の他の側面についてのコメントは全く信じられないものです。

9・11 は、中東でのテロと軍事行動に対する、いわゆる地球的戦争を始める動機となった事件です。現在、疑問の余地なく確かなことは、我々がこの事件の本当の事実について、大きなスケールで騙され操られていたことです。9・11 についての本当事実をつかむことは、我々が今、中東で目撃しているすべての問題と、いわゆるテロへの戦いの、核心に踏み込むことです。もしあなたが、通常の、思いやりがあり、愛国的な大衆を、ただ 9・11 についていろんな質問をしたとか、ある証拠を持ち出したとかで「非暴力過激主義者」と決めつけ、またこの種のインターネットサイトは検閲されねばならないと言明するなら、その時私は、あなたこそ極め付きの過激派であると言わねばなりません。

9・11 についての真相と証拠は、いまでも現れ続けており、先に言ったようなニューヨーク市で行われているものによって、情報が人々の目に触れるにつれて、人々はますます目覚めていこうとしています。英国政府がインターネットを検閲するとか、これらの人々に過激派のレッテル貼りをするという野蛮なことをしても、これを隠ぺいし通すことはできません。もうそれは時すでに遅しです。誰であろうと公権力者がこの情報を禁圧し続けようと試みることは、歴史的に誤った側に位置づけられることになるでしょう。

敬具

ピーター・ドルー、MS c